

# 「太平山麓九条の会」だより



事務局：須黒法律会計事務所 〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757  
電話連絡先0282-22-7079(増田)  
Eメール [oohirasanroku9jo@yahoo.co.jp](mailto:oohirasanroku9jo@yahoo.co.jp) HP：太平山麓九条の会で検索

163号  
2021年1月21日発行

## 2021年新年雑感

鈴木解子



(長尺版画絵巻「世界を平和に」)

2021年正月は晴天が続いた。我が家屋上からは、南にかすかに富士山が白銀の冠を見せ、北に那須の山々と日光連山の輝かしい光を放つ姿が望めた。コロナ禍の年明け、東日本大震災、福島原発事故から10年の年も正月の嬉しい光景は変わらなかったことを記憶にとどめたい。

1年前から“新型コロナウイルス”というワードを聞かない日はなくなった。秋以降、深刻さは増してきた。そんな10月のある日、核兵器禁止条約の発効要件50か国目の批准書が国連に提出されたというニュースが流れた。コロナ禍の中、しばし感動に疼いた瞬間ではあった。

父・鈴木賢二の作品や資料は母の手によって残され、栃木県立美術館や複数の美術館の研究員たちによって仕分けされ整理されてきた。それらは、当面の“役割”を終えるとそれぞれの研究機関に渡ったり、残りの部分はまた我が家の奥へ奥へとしまひ込まれた。いま、それらを引き出して“次の時代に担ってもらふべき役割”のために作業を続けている。

1950年代、賢二の切り絵による幻灯のひとつ「ヒロシマの子供たち」のガラス絵原本（切り絵をガ

スに貼り付けたもの）とモノクロのフィルムが出てきた。カラーフィルムは町田国際版画美術館に収蔵されたが、ガラス絵3枚は一枚一枚紙に包まれて箱に入っていた。これも町田の美術館へ行くことが決まったが、素朴な丁寧な手仕事が作家の非核平和への思いになって伝わってくる。

1958年、賢二は第4回原水爆禁止世界大会に際して、長尺版画絵巻「世界を平和に」を発表した。作品は、人々の営みが穏やかに描かれ、やがて夫を息子を兵役に送り出す日々が変わり・・・原爆投下とその惨状、第五福竜丸被爆後の原水爆禁止の市民運動の高まりまでが彫り込まれている。

2021年1月22日、核兵器禁止条約は発効する。  
**(核兵器の) すべてなくすことこそが、二度と使われないことを保証する唯一の方法だ**

核兵器禁止条約のこの理念に照らしながら、賢二の反戦平和に関する作品たちに次の時代にも語らせる・・・これが私の仕事の最終章だ。

## 「クメタナ」平和コンサートのお知らせ

栃木県にも緊急事態宣言が出るなど、残念ながらコロナ感染は収束するどころか、拡大の一途をたどっています。いろいろな分野で行動自粛をせざるをえない中ですが、心をいやす催しはできないかという思いから平和コンサートを企画しました。

感染拡大をできるだけ抑えるため、野外で、時期も4月末に設定しました。いろいろご予定やコロナ感染を恐れるお気持ちもあると思いますが、音楽に耳を傾け平和のすばらしさを味わう春のひと時を過ごしませんか！

- ◆ ◆ 日時：4月25日(日)
- ◆ ◆ 場所：かかしの里(大平町西山田1771-3)
- ◆ ◆ 出演者：ビオラ・ヴァイオリン 桑川吉見(県交響楽団指揮者)  
ピアノ 田中純子 ヴァイオリン 桑川正子



## 日本学術会議会員任命拒否問題 注目！イタリア学会の声明

2020年10月17日にイタリア学術会議会長藤谷道夫慶應義塾大学教授が、時の首相によって日本学術会議会員の任命を拒否したことに對して声明を発表。社会学者宮台真司が発信したと相まって、称賛の輪が拡散された経緯がある。どんなことが称賛されたのか、知っておく必要があるだろう。要点を列記する。

①国の予算を投じる機関として国民に理解される存在であるべきだ、との首相の言い方に二つの誤りがある。学問は国家の《しもべ》とする間違った学問観。お金をもらう以上、政権批判してはならないという間違った手前勝手な公民観。学問研究は政権与党のためにあるのではなく、全人類の共通善として無償で開放されるもの。公務員は政権の《しもべ》ではなく国民全員のために働き、間違っている政権を批判することは公務員の義務。古代ローマの時代に設置されていた「護民官」は、権力を批判牽制する官職で見るべきものがある。

②首相は学問の自由について理

解していない。学者が学問的良心に従って行う言動の保障こそ学問の自由。間違っても権力が介入してはいけない。介入した典型例が、17世紀ガリレオがローマ教会によって「地動説は誤り」と言わされたガリレオ裁判。時の権力に沿わない学問研究を封殺した例。今回の問題は、ガリレオ裁判と本質的に重なる。「何が正しく、何が間違っているか（政権が）決めていく」とは、学問の自由の理念に反する。

③最も問題なことは、任命拒否理由の説明がないこと。1975年内閣法制局長官の見解「首相らには答弁し、説明する義務がある」にもかかわらず、木で鼻を括る答弁を繰り返す姿は、民主主義の第一歩である情報公開を否定するもの。紀元前59年、カエサルが議事録や日報を公開する制度を確立し、その後、貴族たちの隠れての不正ができなくなった史実がある。前政権では情報の秘匿、文書の改ざんや捏造、削除などが平気で行われた事実があり、《説明しないこと》と《情報を秘匿すること》は民主主義を支える命を失うこ

とを意味する。学者のみならず、人々に不安を掻き立てて恐怖を蔓延させることにつながる、心理的に権力に支配されるようになる。

④「人事」と言いつのって首相は「（任命拒否の理由を）答えられない」としたが、人事で恫喝する手法は一種の《暴力》とみなされる。紀元前5世紀のアイスキュロスの作品『縛られたプロメテウス』を引き、絶対君主ゼウスの意向に逆らったプロメテウスが一言もしゃべらない連行者によってスキュティアの岸壁で磔の刑に処せられる場面に触れ、無言の暴力で他者を従わせる権力の姿を指摘している。以上が声明の骨子と考える。

(全文は同学会のHP <http://studit.jp/> で)

文末で中曽根元首相の内閣・自民党合同葬儀に触れ、弔旗掲揚や黙禱の件での国立大学や都道府県教育委員会への通知に関して「公金は自民党のためのものではなく、国民のためのものである。国民全体の奉仕者である公務員を、自民党のための奉仕者に変えようとする暴挙は許されないと断じている。

私たち一人ひとりが知りえないまま“ゆでガエル”状態にならないようにしなければならぬ。(元井茂記)

## 「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にご協力を！

1月22日「核兵器禁止条約が発効されます。残念ながら、日本は参加していません。多くの方が呼びかけ人になって、日本政府の署名・批准を求めています。

\*共同よびかけ人のメッセージから

○小林 亜星(作曲家):真っ先に参加すべきなのにできない日本政府の情けなさ!!みんながもっと怒るべし!!

○宝田 明(俳優):広島、長崎に続き9年後、第五福竜丸が水爆実験の被害を受けた世界唯一の被爆国です。日本は堂々と先頭に立ち、条約の署名、批准を政府は行うべきであり、菅政権は躊躇することなく勇気ある行動をとってほしい。

\*スタンディング 2月9日(火)市役所前 2月19日(金)ケイズデンキ前 15時から

\*スタッフ会議 2月12日(金)・2月26日(金) 13時30分から(コロナ感染拡大で中止になる場合も)

\*県民ネット総会・講演会(2月7日)コロナ感染拡大のため中止。吉田さんの講演会は後日行います。